



## 慶應義塾大学ビジネス・スクール

# エーザイ株式会社

5

2007年12月、京都市東山区の清水寺の森貫主は、「今年の漢字」を、縦1.5メートル、横1.3メートルの和紙に揮毫（きごう）していた。2007年の世相を表す漢字「今年の漢字」として、「偽」が選ばれた。この年に、産地や原材料偽装、賞味期限の改ざんなど食品偽装の問題が相次いだことが、その選定の理由であった<sup>1</sup>。

10

### コンプライアンス・情報開示におけるエーザイの高評価

エーザイ株式会社はコンプライアンスや内部統制システム、IR活動などの情報開示において、複数受賞している“コンプライアンス優良企業”であった。2006年～2007年に受賞したものには以下が挙げられる。

15

#### 1. 「誠実な企業」大賞

2007年、第5回「誠実な企業」賞の大賞（産経新聞社とKFi株式会社主催）に、エーザイが選ばれた。コンプライアンスや内部統制システムの整備に積極的に取り組んでいることが評価された。エーザイは、全上場企業3,869社のうち、高評価を得た34社の中から「大賞」として選ばれた。

20

#### 2. 「IR優良企業大賞」（3度目の受賞：大賞の受賞）

エーザイは、第11回（2006年度）IR優良企業賞（日本インベスター・リレーションズ協

25

<sup>1</sup> 「今年の漢字」は、日本漢字能力検定協会が公募で選ぶ。2007年は全国から9万通を超える応募のなかで「偽」は1万6,550票と圧倒的多数の1位であり、2位は「食」の約2,450票、3位は「嘘」、4位は「疑」と続き、2位以降も「偽」と同じ理由で選ばれるという年であった。

本ケースは、クラス討議のための資料としてまとめられたものであり、経営管理に関する適切あるいは不適切な処理を示すことを意図したものではない。本ケースは伊藤博樹と慶應義塾大学大学院経営管理研究科教授中村洋が公表資料、関係者へのインタビュー等をもとに作成した（2010年1月作成）。

本ケースは慶應義塾大学ビジネス・スクールが出版するものであり、複製等についての問い合わせ先は慶應義塾大学ビジネス・スクール（〒223-8526 神奈川県横浜市港北区日吉4丁目1番1号、電話045-564-2444、e-mail: case@kbs.keio.ac.jp）。また、注文は<http://www.kbs.keio.ac.jp/>へ、慶應義塾大学ビジネス・スクールの許可を得ずに、いかなる部分の複製、検索システムへの取り込み、スプレッドシートでの利用、またいかなる方法（電子的、機械的、写真複写、録音・録画、その他種類を問わない）による伝送も、これを禁ずる。

30